



まほろば

＜校訓＞ 『真理を求め友愛に生きる』
～「めくもり」と「輝き」のある東和中学校をめざして～

令和8年5月29日（金）

第4号

花巻市立東和中学校

TEL 42-4221

FAX 42-4222

熱志創輝～「輝き」がいっぱいの体育祭！

体育祭から10日が経ち、26日の生徒朝会では、生徒会による振り返りが発表されました。アンケートでは、ほぼ全員が体育祭を楽しみ、スローガンを達成することができた、学級や組団で協力できたと回答。感想のまとめとして、「全員が練習から本気で取り組み、思い出になる体育祭になった。」「運動が苦手な人も頑張っていた。」「一つの目標に向かって組団全員が、全力で取り組めた。」と紹介されました。また来年度への意気込みでは、「気持ちを早く作る。」「時間を大切に。」「今回の成功体験



を自信にしたい。」「体育祭で培った力を生かしたい。」という前向きな言葉が多く出されました。体育祭を振り返るスライドの後、最後の組団集会が開かれ、学級で作成した感謝のメッセージを交換しました。

何度振り返っても素敵な体育祭。皆さんの表情が「輝き」がいっぱいだった最高の体育祭でした。体育祭は、赤組と黄組と2つに分かれて戦う勝負事。本当にどちらの組団も熱い思いで真剣に、競技と応援に取り組んでいました。だからこそ、勝ち、負けという結果に、嬉しかったり、悔しかったりという気持ち生まれ、うれし涙や悔し涙が自然と流れていました。最後は組団関係なく頑張りをたたえ合おうと、肩を組み、全校で校歌を歌ったのも、両方の組団長の思いが全校生徒へ伝わり、ひとつの大きなつながりを作ったと言えます。全員で「挑戦」し、「本気」で取り組み、互いに「ありがとう」の感謝の気持ちをもった体育祭でした。恐らく最初から上手くいったことはなく、思う通りには行かないこともたくさんあったかもしれません。人と関わることで大きな力が生まれますが、そこにたどり着くまでの過程には、気持ちや考えをどう伝えたら良いか悩み、ぶつかったり、よりそったりと、多くの経験をした2週間だったと思います。またひとつ、大人になるための力をつけ、成長したと感じる体育祭取組でした。

またeメッセージを通じて、保護者の方々からは貴重なご意見をいただいております。1年生の保護者からは、小学校とは異なる体育祭と通してのお子さんの様子、3年生の保護者からは最後の体育祭での頑張りが我が子の成長を多く寄せいただきました。さらに熱中症の心配から、開始時刻や日程、日除け対策についてのご意見も多くありました。来年度の開催に向けて、検討していきたいと思っております。



自分の命を守るために～スマホの使い方を考えよう！

22日(金)には KDDI 情報モラル講座認定講師の沼本敏和さんから、SNS 上で起きた誹謗中傷やいじめ、個人情報流出やネットでの炎上、犯罪へ巻き込まれたケース等の動画視聴後、それぞれ意見交換をし、どういう対応をすればよいのか、具体的に考える学習をしました。大半の生徒が個人のスマホ等を所有しているためか、生徒からは活発に、登場人物の行動について意見が出され、普段からリスクへの知識が身につけている様子が見え、リーフレットも持ち帰っている。ぜひ保護者の方も動画などをご覧頂き、家庭でルール作りや話題に活用してください。また、トラブルの際に相談する機関もリーフレットには記載されています。実際に中学生も巻き込まれていること少なくありません。何かあったら、躊躇せず相談をしてください。命に替えはなく、心の傷は癒えません。命を大切に。



「東和創造学」～6月5日には、各学年講師をお迎えして学習します～

2・3年生は昨年度より、すでにスタートしていた総合的な学習の時間「東和創造学」が、いよいよ1年生でもスタートします。3年間を通して、地域の方々から東和について学び、地域との関わりについて考えると同時に、自分自身の生き方について考える大切な学び。どんな出会いや発見があり、学びが待っているのでしょうか。そしてこの「東和創造学」での学びには、教科学習も大切です。教科学習での話し合いやインタビュー活動、考えたことや感じたことを言葉でまとめ伝えること、順序立て物事を考え、進めること、プレゼンの準備や発表等、全てが「東和創造学」の学びに繋がり、より一層深いものにしていきます。体育祭同様、学習目標をもって、みんなで「本気で挑戦」していきましょう。

東和創造学～真理を求め、友愛に生きるとは～			
	1 学年	2 学年	3 学年
テーマ	「地域に生きる」 ～郷土の誇り・魅力発見！～	「社会に生きる」 ～先人とのふれあい・職業体験 学習を通して！～	「未来に生きる」 ～地域貢献活動・発信！～
ねらい	○東和の魅力・活動する方々の 思い等を、様々な視点から発 見する。	○職業や産業に関心を持ち、職 場体験で実際の職業に触れ、職 業に対する理解を深め、先人か らも生き方を学ぶ。	○郷土の復興と発展を支える夢 や目標を持ち、その実現に努力 する。
6 月 5 日 は	①「東和の魅力」 東和作戦会議 大石文子さん ②「東和の地で行う陶芸」 源平の会 佐々木弥代さん	「夢への扉～大人になった東和 っこ達とのふれ合いトーク 2026～」 東和っこ企画 代表 早川真美さん他 18 名	「地域の活力とは」 東和棚田のんびりラン実行委員 菊池 剛史 さん 伊藤 ケイ子 さん
こ の 後	9月2日 ①東和の土を使った陶芸体験 ②ふるまつ自然農園での農業体 験 2月中旬③味噌造り仕込み体験	7月7・8日 職場体験学習 8月26日 味噌天地返し 9月2日 北上川流域ものづく りネットワークによる校外学習 3学期 修学旅行(浦安マーケ ット販売)に向けて	9月19・20日 「東和棚田のんびりラン」イン ターンシップ ●3年間のまとめ(進路学習も 加えながら)自分の生き方や地 域との関わりを考える